

コミュニティバス「フラワー号」へのEV（電気）バス導入について

地球規模の環境保全に向けたSDGsの理念のもと、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を積極的に推進するとともに、二酸化炭素排出量の低減や市民、事業者に対して環境配慮への意識向上を図るため、県内2例目として、コミュニティバス運行事業にクリーンエネルギーを動力とするEVバス車両の導入を進めます。EVバス車両は、二酸化炭素排出量が究極の「ゼロ」であることから、現在10台で運行している「フラワー号」に導入を進めることにより、環境にやさしいまちづくりを一層推進します。

【導入車両】

- ・車 両：J6（小型バス29人乗り） 1台
- ・メーカー：BYD
- ・航続距離：200km（エアコンなし、乗車率65%）

※冷房起動時で150km

- ・特 徴：すべての人に快適で安全なノンステップ仕様
静かで乗り心地は快適

【運行予定】

- ・令和5年春頃から運行開始予定

【経済性、環境への配慮等】

・「フラワー号」の運行におけるEVバス導入効果として、燃料費コストが約25万円、維持管理コストが約13万円、合計で年間約38万円の削減が見込めます。また、EVバス車両の最大の強みである環境への配慮としては、走行時の二酸化炭素排出量が「ゼロ」であるため、バス車両1台が排出する年間約45,000kgの二酸化炭素を全て削減できます。これは、3,215本の杉の木が1年間で吸収する二酸化炭素量に相当します。



現在のフラワー号



EVバス車両